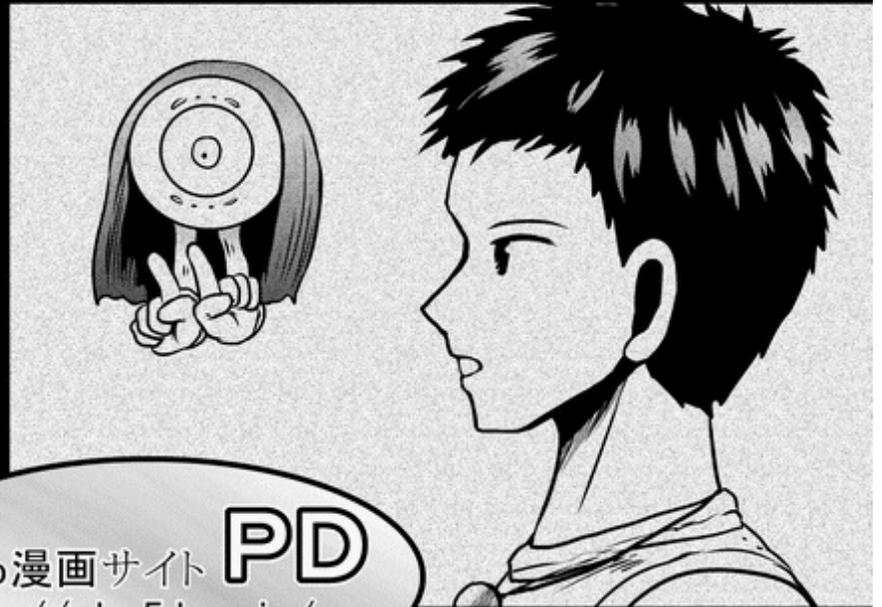




あとがき集

パーダ

099



web漫画サイト **PD**
<http://cba5.booo.jp/>



作・パーダ

*この作品はフィクションであり、
実在の人物・団体・事件などには
いっさい関係ありません。

○はじめに

web漫画『星道』のあとがき集みたいなものです。

制作裏話や、本編では描かれなかった裏設定、
本編の後日談などを書いてあります。

ネタバレ満載なので本編を読んだ後に読むか、
あえてこっちを読んでから
本編を読むかしていただければ幸いです。

制作
ネタ

裏
設定
ネタ

その
後
ネタ



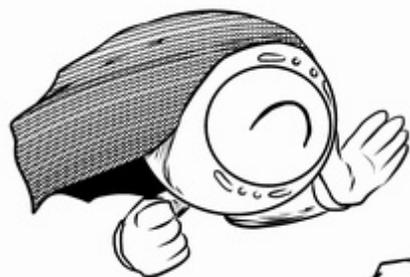
- ・web漫画『星道』
- ・作者:パーダ(web漫画サイト『PD』)
- ・連載期間:2016年8月～2017年8月
- ・全三十四話。
- ・全1080ページ(オマケページ除く)

○一人一星

一人一人別々の星に住んでるって正直非効率で無茶な話なんだけど、普通の設定だと個性が出ないし、はるか未来って設定だし、現代だってイカれた話は山ほどあるからまあいいかと(笑)

作中どこかで誰かが「個人主義のなれの果て」って言ってたけど、その辺りが原案で、何でもかんでも自分の思い通りにしたいと言う個人個人の欲望みたいなのが作り上げた世界って感じです。

「国家は国民が働かなくても食っていけるようにしろー！」みたいななの究極進化的な。



そんな時代でも夢を追って冒険の旅に出る主人公セピスを中心とした「SF冒険漫画」!

……と言うより、

「SF日常漫画」だと思います!

(中盤以降かなり省略したので冒険要素が薄れて)



○駆け足展開

『星道』は世界観やら何やらから考えて過去作品の『呪道』などより読者受けは悪くなるだろうなーと思ってたけど、予想以上に悪かったので(笑)、予定より早くに終わらせることにしました。途中から駆け足っぽくなってるのはそのためです。(特に戦闘面をゴッソリ省略)

それでも「地球に到達せずに終わり」だけはしないように調整しました。



○三大ロボット

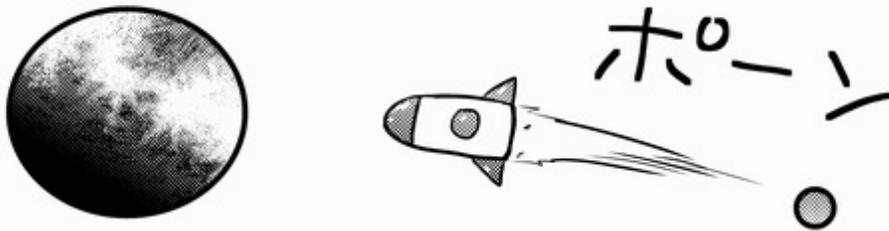
「三大ロボット」って言葉が最初に出て来たのは第十九話だけど、「スミス家騒動」が始まったり駆け足展開に突入したこともあって詳しい説明がなかなか描けず第三十二話になってやっと描けた。

紹介できないまま終わるかと思った。



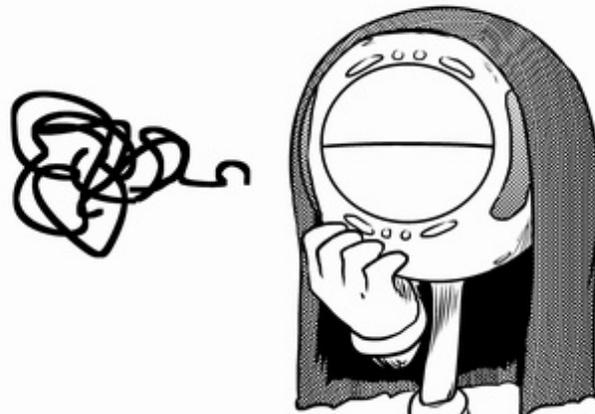
○セピスの地球行き

主人公がデカ過ぎる夢を持った場合、
「オレたちの戦いはこれからだ！」的なオチに
なりがちなので、
『星道』はそうはしたくないなーと思って
とにかく地球に行かせようと頑張りました。



○ダマメの人型ボディ

これは複数案あって、
「ついに地球にたどり着いたセピスだったが
実はセピスはとっくの昔に死んでいて
そのボディを受け継いだダマメだった～」
とか
「旅の途中で次々に死んで行った
サポロボ仲間のボディを受け継いで行って
最後は人型になる～」とかの案も
思い浮かんだんだけど、
そんなベタで鬱なネタは
やっちゃいかんだろうとボツにして、
結局丸型ボディのままで終了。





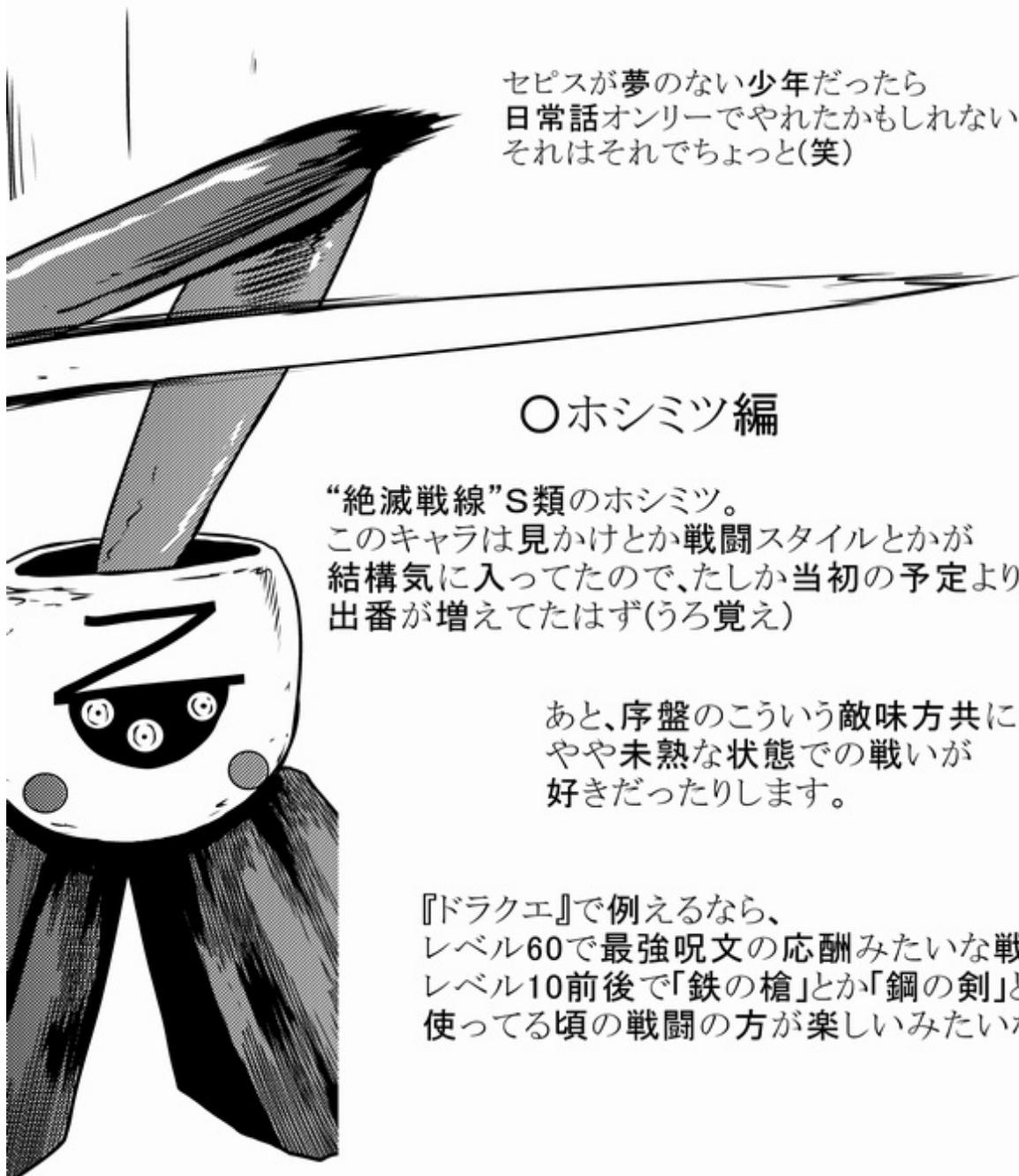
○序盤の展開

制作
ネタ

セピスたちの日常が描かれている序盤。
“絶滅戦線”と争ったり仕事で赤字に
なったりはするけれど、
比較的平和でのんびりとした毎日。

こういう展開をもう少し続けても良かったんだけど、
続ければ続けるほどセピスが地球に
たどり着かないまま漫画が終わってしまう
可能性が増えるので、やや早めに切り上げました。

セピスが夢のない少年だったら
日常話オンリーでやれたかもしれないけど
それはそれでちょっと(笑)



○ホシミツ編

制作
ネタ

“絶滅戦線”S類のホシミツ。
このキャラは見かけとか戦闘スタイルとかが
結構気に入ってたので、たしか当初の予定より
出番が増えてたはず(うろ覚え)

あと、序盤のこういう敵味方共に
やや未熟な状態での戦いが
好きだったりします。

『ドラクエ』で例えるなら、
レベル60で最強呪文の応酬みたいな戦闘より、
レベル10前後で「鉄の槍」とか「鋼の剣」とかを
使ってる頃の戦闘の方が楽しいみたいな。

○確殺

制作ネタ

「必殺」じゃ普通過ぎるのでマイナーな方の「確殺」を主人公に使わせてみたけど、途中から戦闘シーンがほとんど出て来なかったためろくに使わずじまいになってしまった。残念。

日常会話の中でも上手く使えたらよかったんだけどなかなか……



○第十話冒頭のルオルコ

第十話冒頭のルオルコは無駄にセクシーに描けてよかったなあと思っています。

以上。

制作ネタ

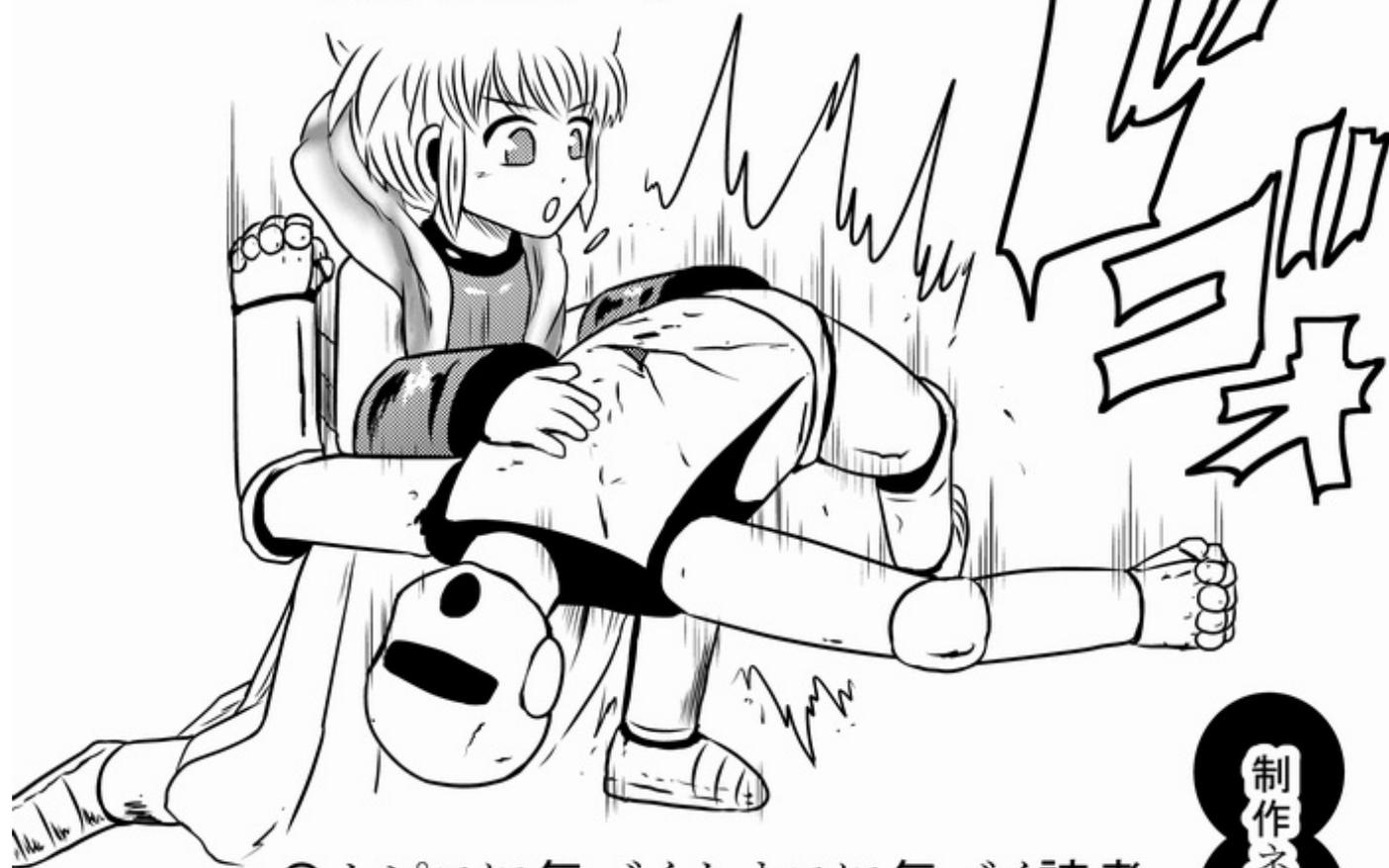


○ワンハンド・バックブリーカー

制作
ネタ

第十三話でファルンフィンがセピスに使ってた「ワンハンド・バックブリーカー」!

これは一発ネタにしないで無人機戦の中でも使わせようと思ってたんだけど(ファルンフィンが無理ならセピスに)、その機会がなかった! これは本当に残念。中盤以降は戦闘を省略してたから……。



○セピスに気づくカオスに気づく読者

制作
ネタ

セピスが自分のひ孫だってことにカオスが気づくのは第十四話33ページ目で、それが作中明らかになるのは第三十話なんだけど、第十四話の時点で血縁関係を察してた読者の人がいてビックリした。

そんなにバレバレだったかなー
主人公が大物の血筋だったのはよくある設定だけど



?

○スミス何世？

制作ネタ

ルオルコの星の初代所有者のスミスさん。
これがスミス何世なのかは
どこかで描いた気がしたけど、
確認してみたら本編には描いてないし
設定資料にもどこにも書いてなくて、
何世なのか分からなくなった(笑)
すいません。



本当にスミス家の
者なのか？



○アカデミー時代の友達

制作ネタ

セピスのアカデミー時代の友達は
時期を見て何人か本編に出そうかと思ってて
何通りかの案を考えてたんだけど、
どこでどう出しても邪魔になりそうだったので、
結局出て来ないまま終了。
(大体は早死にしたり破産したり墮落してたりする)

ウオオオ

セピスが地球に
たどり着いた時に
チラッと出すとかしても
良かったかも



↑後で絶対出て来そうな雰囲気を出しながら二度と出て来なかった人
(第三話)



○スミス家騒動編

誰でも一星の王になって
高確率で150歳まで生きられる
時代になってもまだ満足できずに
「もっと長生きさせろ！」と騒ぐ
老害たちを中心とした騒動。
(第二十話～)

高齢になっても
健康で安全なもんだから
死にたくない人が
多いのかもしれないけど。
(不健康になる一方なら…)

第二十四話、第二十五話辺りは
結構好きなんだけど、
全体的に上手く描けた気は
してないです、すいません。

制作
ネタ



○スミス666世

ホシトサカ戦とかでセピスたちと
一緒に仕事をした人。

この人はスミス家騒動の後、
保身のためにスミス家を悪く言ったり
してたので(第二十六話)、
4年後ぐらいに残党テロ集団の
「超命種」に殺されたことになってます。

裏
設定
ネタ

○飛び続ける流星無双

オメガ伴之助がスミス家騒動の時に使ってた無人機「流星無双」は、一回飛ばしたら二度と止まらない暴走機体。

これがあの騒動の後どうなったかと言うと、オメガは自動操縦に切り替えて、人がいなくて“絶滅戦線”のうるさい辺りに突っ込ませて放棄した。

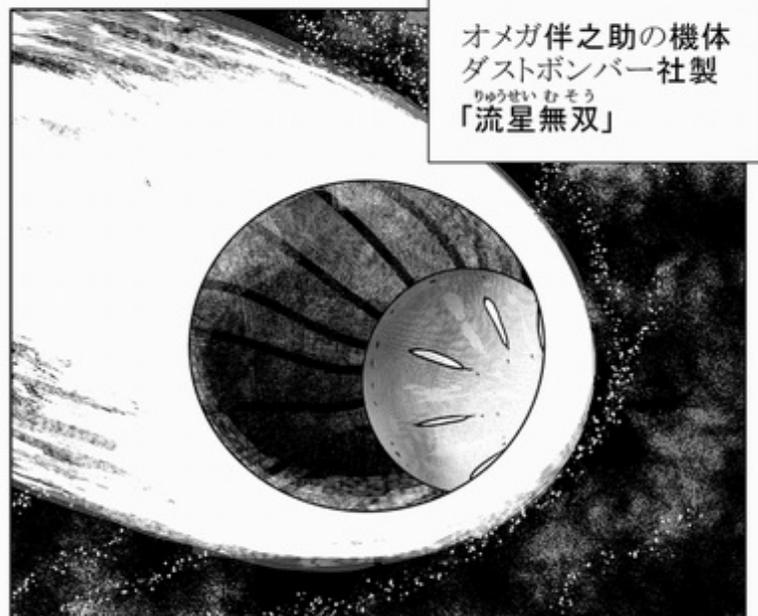
しばらくはその名の通りに無双していたけど、最後には破壊された。

で、あの頑強な機体を破壊できる新たなる強敵登場～みたいな展開も考えてたんだけど、この漫画はその頃には「駆け足展開」に突入してたので、何もかも省略された(笑)



パワーアップした
ホシトサカに潰させて
そこから再戦という案も
チラッと頭をよぎった

それをやってたら
ホシトサカは
生き残らなかった



オメガ伴之助の機体
ダストボンバー社製
流星無双

一休み





○出張編

セピスがちょっと遠くの宙区へ出張して
有人機の仕事をやる話。
その間ダメメたちは駅に預けられる。
(第二十六話)

ダメメたちの視点多かったり、
過去作品キャラのケンジョフクが
スターシステムで出て来たりする異色回で、
作者的にはわりと気に入ってる回です。

これを一話でまとめるために
スミス家騒動の後日談が
ちょっと薄くなった気もするけど



制作
ネタ

○旅立ち編

ナイトの称号を手に入れたことで
最低限の準備はできたと
判断したセピスは
地球への長い長い旅に出る。
(第二十七話)

これもいい回だと思うなあ、
主人公が前向きで。うん。

そろそろ旅立ってもらわないと
予定の期間で連載が終わらないし(笑)



制作
ネタ



○地球への旅編

セピスが旅立ってからは
ポンポン年月が流れる
ダイジェスト的な内容で一気に
物語を進行(第二十八話～)

制作
ネタ

第二十八話では結婚願望の
強い少女ツツツが登場。
まあ「ロナ救済用キャラ」みたいな
感じでした。

○カオスの最期

カオス滅治五郎は延命審査が通らず
人生を終えなければならなくなった。
(第二十九話)

制作
ネタ

カオスという人物を描く回と言うよりは、
この物語を終わらせるための
準備回みたいな内容で、
ちょっとカオスの描き方が
足りなかった気もするところ。

序盤のセリフ

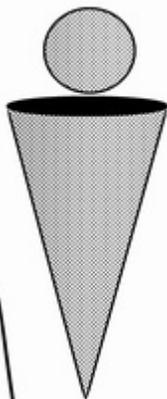
「やってくれたなオメガ伴之助！」は、
スミス家騒動後の延命審査の基準改正に
オメガが関わってたってことです。
説明が足りなかったかもしれませんが。

あと、27ページ目のカオスに
マフラーの描き忘れがあるけど、
この時はちょっと外してたってことに
しといてください！(すいません)



○カオスのサポロボ

カオスは死ぬ前の身辺整理の中で一部のサポロボを処分せずに手放して、それをサポロボ集めが趣味のケンジョフクが手に入れる。しかしそのことからカオスの隠し財産を探しているならず者たちに目を付けられる。「きっと何か財宝のヒントが入ってるはずだからそのサポロボをよこせ！」と。



それをケンジョフクはサポロボ軍団と共に返り討ちにするって話があったんだけど、さすがにこれは描かなくていいかと判断して全省略。

つくも
○九十九ミミミ

仕事でセピスの護衛に来たけど、クシザシ団子乃姫を見てすぐに逃げ出した人(第三十話)。

この人の軽い性格とか微妙な立ち位置がけっこう好きで、セピスとのやり取りも描いてて楽しかった。

どこかで再登場させようかとも思ったけど、やっぱり他のキャラを優先させないといけないので、一発キャラで終了。



○隣人戦争

制作ネタ

第三十一話にチラッと出て来た話。
嫌いな相手の住んでる星が目につくだけで
我慢ならないと言う、困った人たちの話。

『星道』は「個人個人の欲望にはキリがない」
みたいなのがテーマの一つでもあるので、
これはとても『星道』らしい話だと思って
全省略はせず、
2ページちょっとながら入れときました。

いま思うと、この話は
もっと序盤でやれば
良かったかもしれない。

○小さな無人機メーカー勤め

裏設定ネタ

第三十一話にチラッと出て来た話。
セピスは小さな無人機メーカーで
3年ほど働いて、
メーカー代表パイロットとして
無人機戦の大会にも出場した。

その大会でセピスは
ザグム社に何度も負けたって言うけど、
これは実はザグム社はスミス家騒動がきっかけで
経営が傾いた過去があるので、
あの時ヘイタン社側についたパイロットを
恨んでるところがあり、
セピスの操作する無人機と当たった時には
やたら燃えてたってことになってます(笑)





○伝説の無人機探し

第三十一話にチラッと出て来た話。
かつての大富豪が封印した
伝説の無人機を探しに行くという
胡散臭い話で、
実際そんなものは見つからなかった。

でもきっとパニック物の
B級映画みたいなノリで、
セピスはイカれた船長や船員たちと
楽しく冒険して来たんだろうと思う。

描いても全然本筋が進まない
話なのでほぼ省略！

制作
ネタ

○エーエーズ^{しらん}視卵

物語完結のための
最期のキーみたいな大富豪キャラ。
(第三十二話で登場)
いろいろな番組のプロデューサーを
している人で、
セピスの特集番組を作ってくれた。

もうここまで来ると新キャラを
描いてるヒマがないということで、
あんまり個性を出せなかった感じ。
見かけはけっこう強烈なんだけど。

途中から目が増えてるのは
仕様です。
そういう人なんです。



制作
ネタ



○クシザシ団子乃姫

カオスの死後にいろいろとセピスの面倒を見てくれた人。
(第二十九話～)

単にセピスの持つてる土地の権利が欲しいだけじゃなくて、セピス個人を気に入って手助けしてくれる。

便利キャラと言うか、万能キャラと言うか、この漫画を終わらせるために凄く貢献してくれた人。

大富豪の中ではかなり若い。
(セピスより16歳ほど年上)
口癖は「さっぱり分かん！」

○125年中の最高の女性

地球から帰って来たセピスがある日ルオルコに「125年経っても未婚だったとは思わなかった」みたいなことを言うとルオルコは「そっちこそ長旅の中でいい人と巡り合えなかったの？」みたいなことを言い返し、セピスは125年の旅の中で出会った最高の女性は、クシザシ団子乃姫だと答える。

でもそれは「女性」としてと言うよりは「お姉さんの存在」として慕ってて、彼女が何か困ってたら何を置いても駆け付けたいと言う。

クシザシの方はセピスのことを子供ぐらいに見てる。



制作
ネタ

その後
ネタ



さきのしん
○ハナミ咲乃信

地球の土地を持っている
大富豪の一人で、
クシザシなどと一緒に
セピスに協力してくれた。
(第二十九話～)

クシザシの方がセピスを積極的に
助けてくれたので、
ハナミの方は逆になかなか
手助けしてくれないキャラにする
予定でしたが、
駆け足展開のおかげで
気が付いたら普通に協力して
くれてました(笑)

制作
ネタ

きくろごう
○クサキ菊炉合

ハナミ咲乃信の息子で、
父の跡を継いで大富豪になった。
セピスの夢に協力してくれた。
(第三十三話)

最終回手前に出て来たので
ロクに何も描けませんでした、
とりあえず親父よりは話の分かる
タイプで、セピスの夢にも協力的な
姿勢を見せるキャラの予定でした。

ハナミがセピスに協力する気にな
ったのにも多少関係してたり。



制作
ネタ

ズヤァ

一休み

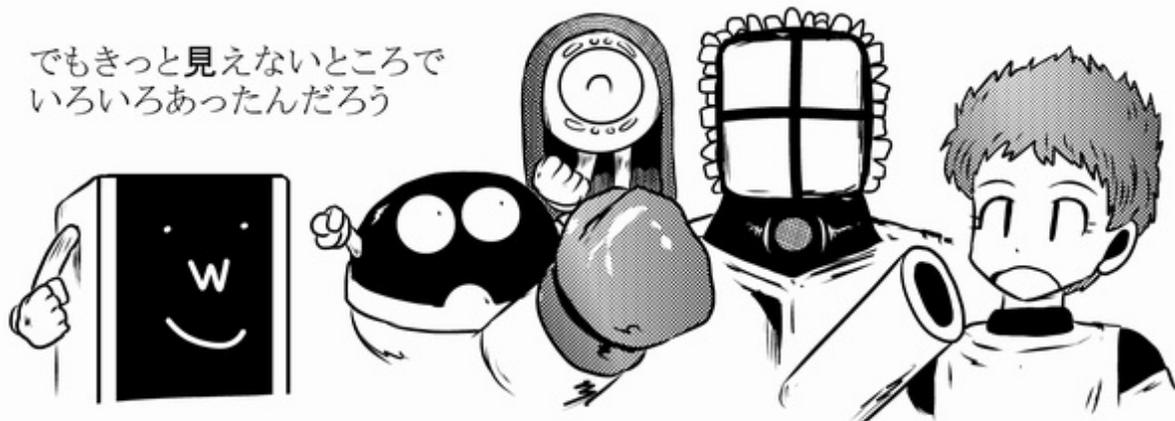


○セピスのサポロボ

制作ネタ

125年も旅してて入れ替えもなく全員無事で
見た目もさほど変わってないのはどうかなーと
思ったんだけど、
「それがいいんだ！」と押し切った(笑)

でもきっと見えないところで
いろいろあったんだろう



○ルオルコの友達

制作ネタ

125年経ってもむかしのメンバーとばかり
付き合ってるのはどうかなーと思ったんだけど、
いまさら新キャラに出て来られても面倒なので
「新しい友達もいるんだけど作中には出て来ない」
ってことにして置いた。

でもきっと
むかしからの友達ほど
気の合うのは
いなかったんだろう



○ボエボエ先輩とメイドロボ

ボエボエ先輩はだんだん健康を害して行ってその治療のために生活レベルを落としたりメイドロボを手放したりして行くんだけど、最後に残った二体だけは手放したくなかった。「手放すぐらいならこのまま死んだ方がマシ」だと。

そのメイドロボたちは最初からご主人様に好意を持つようになってるんだけど、その機能を外して本心のままに動ける機能もあって、ボエボエは恐れながらもそれを試してみる。もしメイドロボたちが自分にそこまで好意を持っていなければ手放そうと思って。

〇〇〇〇



けどどっちのメイドロボもボエボエを心から慕っていたので、もうボエボエはこのまま死んでもいいと思ってルオルコたんのことも忘れて二人と結婚する。

結婚後体調は回復傾向になり、150歳近くまで生きる。



○ザグム社の立ち位置

制作
ネタ

ザグム社は「スミス家騒動」以降
経営が苦しくなって
そのまま変な方向へ行く～
という案もあったんだけど、
描いてるヒマがなかったので、
普通に頑張って経営を立て直したことにして、
市松型ロボットたちが去って行くところで
いい役を演じてもらった(第三十二話)

○カオスの名前

「カオス減治五郎」の名前は
なんとなくつけたんだけど
(ひっかきまわすのが好きな性格だし)、
よく考えてみたら手塚先生のSF漫画に
『未来人カオス』てのがあった。

あれも最後に地球を買う話にな
ったりするので、
その辺の影響が無意識に
出ていたのかもしれない。
(目標を立てるだけで実際に
買うところまでは行かないんだけど)

制作
ネタ



○結婚してあげないルオルコ

ルオルコが最終話になってもセピスと結婚しなかったのにはいろいろと理由があるんだけど、多分一番大きかったのは長年自分を放ったらかしにしてた男に対する女の意地。

制作ネタ

○出て来ないファルンフィン

ファルンフィン第十三話でセピスのルオルコへの接近を禁じていた。

その辺の決着を最終話近くでやるべきかーと思ったけど、まあセピスはもう十分な格を手に入れてたし、ページ数の都合もあるのでもういいかと判断して、ファルンフィンには引っ込んでてもらった。

しかし
スミス家騒動以降の出番が
少な過ぎた気はする



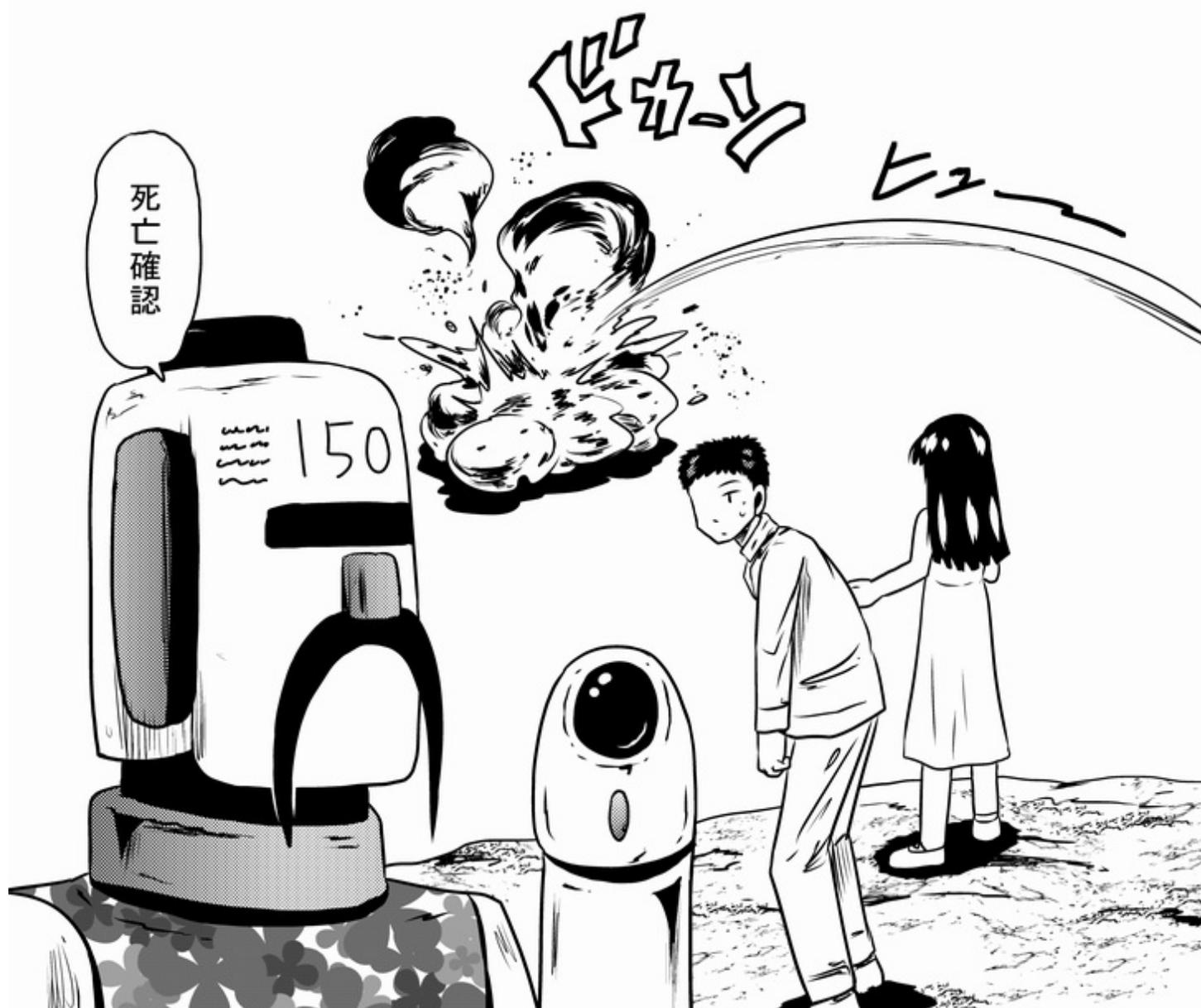
○デュランの最後

デュランは150歳目前の日に
自分の星に用意した大きなジャンプ台から
車でぶっ飛んで事故死という最後を選ぶ。

その人生最後のショーを
役人や友達などを招いて行う。

デスターは喜んで見に来るけど、
「そんなもん見たくない」と言って来ない人もいる。

役人は死亡確認したらさっさと帰る。



○セピスとルオルコのその後

ルオルコはセピスと同じ星で暮らし始めてしばらくしたら、もう少し体を成長させることにする。



○子供の夢

最終回時点でのセピスとルオルコはもうかなり高齢なので、子供が出来たとしてもそれほど長くは一緒にいられない。

それでダメなどのサポロボに子供のことをよろしく頼むんだけど、もしその子供がセピスがむかし地球に行ったことを知ったら同じように地球に行きたいと言い出すかも知れないからその時は止めてくれと言う。

そしたらダメとルオルコに総ツッコミを受ける。



一
休
み



それではこの辺で

ご愛読ありがとうございました！



2017/09

web漫画『星道』あとがき集

<http://p.booklog.jp/book/117355>

著者：パーダ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/pdken/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/117355>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト